

第3回たつの市新宮地域小中一貫校開校準備委員会小学校区部会（越部小学校）
議事録

日時 令和6年6月13日（木）
午後7時から
場所 越部コミュニティセンター

1 開 会

2 部会長及び副部会長の選任

部会長に原田委員を、副部会長に緒方委員を選任した。

3 報 告

第3回開校準備委員会の開催結果について【資料1】

事務局から説明

<質疑応答>

◆ 小学校の記念碑等の取扱いについて

（委員）

地域交流室は、それぞれの校区で一部屋ずつ使用するのか。一つの部屋で各校に分けて使用するのか。

（事務局）

一つの部屋の一角に展示スペースを設け、校区ごとに展示ケースを用意する予定である。

（委員）

新宮小学校以外の小学校の記念碑は、当面の間そのまま置いておくところがあるが、いつまでを想定しているのか。

（事務局）

校舎の跡地利用を今後協議していくこととしているので、現時点でいつまでとは決まっていない。

◆ 小学校の制服のアンケートについて

<質疑応答>

(委員)

中学校の制服はどのように協議していくのか。

(事務局)

中学校は、中学校で決めていく。中学校の制服が新しくなるのかならないのかも中学校で決めることとしている。

(委員)

小中一貫校になった時に小学校と中学校で制服が違うことも考えられるのか。

(事務局)

今回実施するアンケートで小学校と中学校で一緒の制服が良いのではないかとといった意見があれば検討する。

(委員)

姫路市では小学校に制服があるのか、また中学校にはあるのか。

(事務局)

小学校にはなく、中学校にはある。中学校になると多くの学校で制服を着用している。

(委員)

制服のアンケートで、制服がいるかいないかを聞いて、いるとなればそこから制服のデザインを決めていくのか。

(事務局)

そうである。

(委員)

行事の時だけ着用したいという声があれば、どのようにアンケートに回答するのか。

(事務局)

自由記述の欄に記入していただければ良い。

(委員)

小学6年生で小中一貫校に入学となった時に、その一年だけのために制服を購入することになるのか。

(事務局)

保護者の負担とならないように、現在の制服を着用できるよう移行期間を設けようとは考えている。

(委員)

未就学児には直接郵送とのことであるが、返信の際も郵送するのか。

(事務局)

インターネットからの回答になるため、郵送していただく必要はない。

4 議 事

スクールバスの運行ルート（案）について【資料２－１、２－２】

事務局から説明

<質疑応答>

（委員）

加東市では、開校後、2kmに変更したと聞いている。暑さの厳しい中、一年生の児童が歩いて帰ってこられるのかという声もある。再考いただきたい。

（事務局）

加東市は同心円で距離を2kmとしている。開校当初は同心円で3kmであったものを、開校後に同心円で2kmに変更している。同心円で2km描いた場合、実距離としておおよそ3kmになるであろうという考え方である。一方で、国は4kmを基準としている。また、通学時間の目安を1時間と国が示している。実際に、市内の一年生が歩いた時速を測ったところ、時速3.45kmであった。ご提示している3kmという基準は、新宮小学校の一番遅い下校時間から冬至の日の入までの時間が約1時間であったため、1時間で帰ることのできる距離を算出している。

（委員）

3kmは変更できないのか。

（事務局）

原則的なところを示しているので、例外的な考え方もある。バスの台数を増やさずにルート上で乗車できる場所があるのではあれば考えていきたい。

（委員）

登校時は数名いるが、下校時には一人になる可能性もある。その点はどう考えているのか。

（事務局）

一人での下校が生じることについては事務局としても危険であると認識している。ただ、それがいつそうなるのかは現時点では分からないので、そういったことが起こる場合に改めて検討することも考えられる。

（委員）

親としては、児童の登下校時に心配がないように最初の時点で仕組みを作っておいてほしい。1・2年生だけの下校時に、熱中症や変質者等のことを考えると心配である。総合的に考えて、重い荷物を背負いながら、1・2年生が一時間かけて3kmを歩いて帰ることがどうなのか。

（事務局）

他校区でも3kmを歩いている地区がある。市全体的なところも見ながら検討してい

く必要があるが、先ほどいただいた意見については、事務局で持ち帰って検討させていただきたい。

(委員)

学校が新しくなるのであれば、井野原の児童もバスに乗っても良いのではないと思う。

(委員)

学童に行く児童もいるので、ある程度の人数がいる中でも、下校時には一緒に下校する人数がいらないこともあると思う。低学年の親としては不安である。

(委員)

井野原の児童（低学年）はどのように下校しているのか。

(事務局)

保護者の迎えや、地域の見守り活動で下校していると聞いている。

(委員)

保護者の迎えありきで考えずに、自分で帰ってこれることを前提に考えてほしい。

(委員)

市野保が徒歩通学となった場合、県道をどこまで整備してもらえるのか。歩道と車道を隔てているのが植木しかない。芝田橋の信号があるが、そこを歩者分離にできれば、児童が安全に通学できるのではないかと意見がある。市としてどこまで整備できるか。

(事務局)

県道であるので県に要望していくことになるが、通学路の危険箇所を協議していく協議会がある。ガードレールを設置してほしいという意見だと思うので、その点について県がどう判断するかになる。

(委員)

龍野北高校のところに新しい橋でできるので、交通量も増えるのではないかと。そういったことも考えると、芝田橋のところは歩者分離にしてほしい。市野保の児童が徒歩で通学する場合、芝田橋を越えた後は、芝田の児童と同じルートを通るのか。

(事務局)

通学ルートについては、そうなると思う。

(委員)

觜崎の信号南の里道を使用することの提案があつたが、やはりその信号を渡ることが危険だと思う。179号線より北で駐車場を設けて、その後、仙正方面に行くことも考えてはどうか。

(事務局)

検討したい。

(事務局)

段之上が南北に長い地形であるが、バスの乗車対象かそうでないかの線引きを自治会内で行うことについてどのように思われるか。

(委員)

これまで一緒に登校していたにもかかわらず、自治会内で乗れた乗れなかったの話になる。

(委員)

全ての児童と一緒に登校しているわけではない。3班に分かれている。

(事務局)

そのあたりも含めて検討したい。

(委員)

5・6年生は、自転車で行くことはどうか。小学生が自転車で通学している事例はあるのか。

(事務局)

おそらくないと思う。

5 その他

(委員)

昨年度にも提案をしたが、校区の情報を冊子にまとめることを考えたい。この部会で行うことが難しいと思うので、連合自治会に音頭をとってもらって実施したいと考えている。最終的に記念誌を作と思うので、その際にも生かしていけると思う。

(委員)

越部地区として、県等の補助金を活用しながらやっていくので、市としても何かあれば教えてほしい。

6 閉 会